

2023年3月20日(月) 15:40-16:40 / 15:40-16:40 March 20th (Mon.) 2023

文教大学シンポジウム
教職課程における新学習指導要領への対応

Bunkyo University Symposium
English Teacher Certificate Program under the New Course of Study



渡辺 敦子 (文学部英米語英米文学科 教授)

文教大学における教員養成

文教大学は7つの学部から構成され、そのすべてにおいて教員免許を取得することができます。本シンポジウムでは教員養成に力を入れる文教大学における新学習指導要領下の様々な試みについてお話しします。まず新学習指導要領をCEFRの視点から概観し、教育学部、国際学部における学部の特色を活かした英語教員養成の取組を紹介します。



鷺麗美知 **ゾラナ Zorana Vasiljevic** (文学部英米語英米文学科教授)

The Common European Framework of Reference for Languages:
Origin, Goals, Impact and Challenges

The talk will provide a historical background to the CEFR project while discussing its impact on curriculum design, language learning, language teaching, and assessment practices across Europe. It will also address some of the criticisms that led to the revisions of the original framework and publication of CEFR's Companion Volume in 2020. Finally, this brief introduction will shed light on the influences CEFR's descriptive scales of language use and competences had on Japan's own Courses of Study (national curricula) for foreign languages.



金森 強 (教育学部学校教育課程英語専修 教授)

教員採用者数【小学校】15年連続 私立大学全国第1位〔国公立大学全国第4位〕の文教大学（「大学ランキング2023」朝日新聞出版）

2016年、小学における英語の教科化に備えて、教育学部に、「英語専修」が設置された。他専修との横並びのカリキュラムの限界を感じながらも、ディプロマポリシーを果たすための教育プログラム作りに取り組んでいるところである。充実した教育を支えるチームのスタッフ、補習プログラム、そして、抱えている課題についてお話ししたい。



阿野 幸一 (国際学部国際理解学科 教授)

世界を伝えることができる英語教員の養成を目指して

国際学部の学生は、現代社会や異文化理解などについて多角的に学んでいます。こうした学部での学びを通して得た広い視野を生かし、英語教職課程では、単に言葉の構造を教える授業ではなく、題材を最大限に生かして考え、英語で思いや意見を伝え合うことができる指導力の育成をしています。学生がどのようなカリキュラムで英語教員としての指導力をつけているか、学校訪問や学習支援ボランティアなどを通しての学びなども含めて、国際学部だからこそできる英語教員養成についてお話しします。